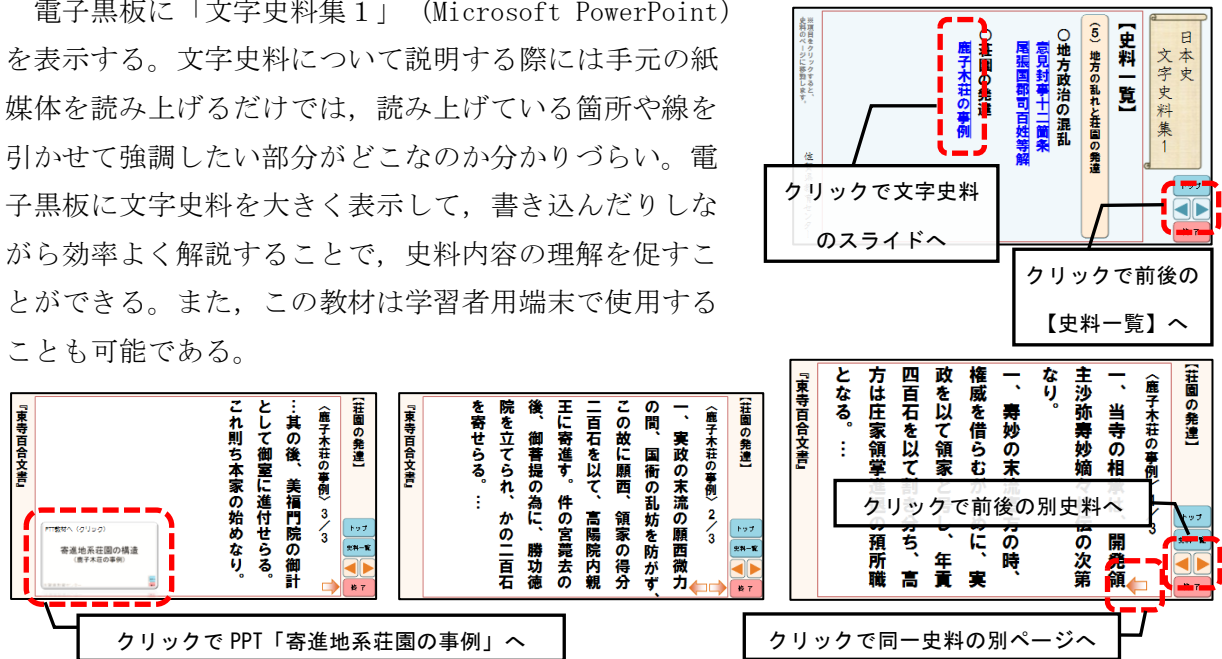


5 ICT利活用のポイント

①説明の補助

電子黒板に「文字史料集1」(Microsoft PowerPoint)を表示する。文字史料について説明する際には手元の紙媒体を読み上げるだけでは、読み上げている箇所や線を引かせて強調したい部分がどこなのか分かりづらい。電子黒板に文字史料を大きく表示して、書き込んだりしながら効率よく解説することで、史料内容の理解を促すことができる。また、この教材は学習者用端末で使用することも可能である。



②表現活動

教師が史料を読み上げるのと同時に、生徒には学習者用端末の Microsoft OneNote 上に史料の内容を図式化してまとめさせる。学習者用端末で作業させることで、教師は生徒がまとめた内容を教師用端末でリアルタイムに確認できる。さらに、学習者用端末での作業内容を電子黒板等に表示することで、他の生徒の作業内容と比較させたり、書き込んだことをもとに発表させたりする学習活動の設定も可能である。

③説明の補助

電子黒板に「寄進地系荘園の構造(鹿子木荘の事例)」(Microsoft PowerPoint)を表示して、アニメーションを用いながら荘園の構造について再度詳しく説明して確認をする。その際、生徒には自分がまとめた記録と比較させる。

